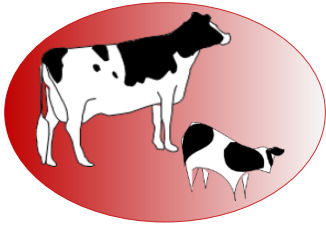


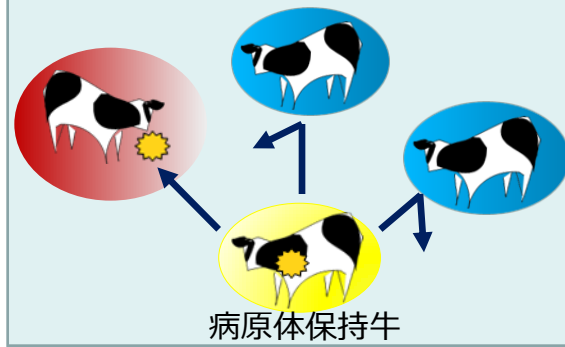
乾乳期のワクチン接種で 子牛の抵抗力UP!

子牛の呼吸器病・下痢症の予防には、母牛へのワクチン接種が有効です

ワクチン未接種



子牛受託農場



ワクチン接種済



初乳による抗体移行

自家の子牛は預託農場へ預ける前に、母牛へのワクチン接種で守りましょう!

ワクチンの接種で抗体価を高めるために



母牛にワクチンを接種

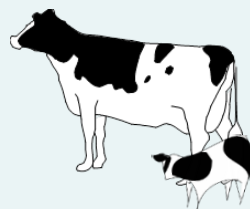
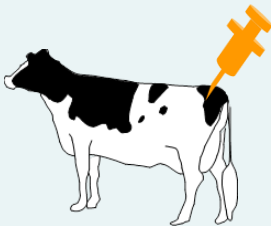
呼吸器病ワクチン：分娩予定の1ヶ月前に1回接種

下痢症ワクチン：分娩予定の1ヶ月前に1回接種*

* 初産牛へ下痢症ワクチン接種する場合、1.5ヶ月前と0.5ヶ月前の2回接種



子牛に初乳を適切に与える



分娩1ヶ月前

呼吸器病ワクチン
および
下痢症ワクチン

分娩

初乳給与

生ワクチン接種時の注意事項



BVDウイルスの生ワクチンは、妊娠牛に接種できません

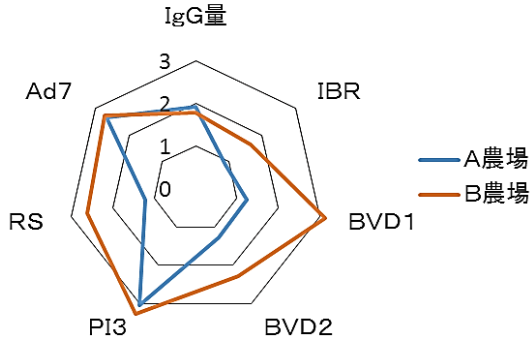
* ワクチン接種に関する詳細は、かかりつけの獣医師に相談してください。

農場ごとに存在する病原体が違い、初乳に含まれる抗体も違います



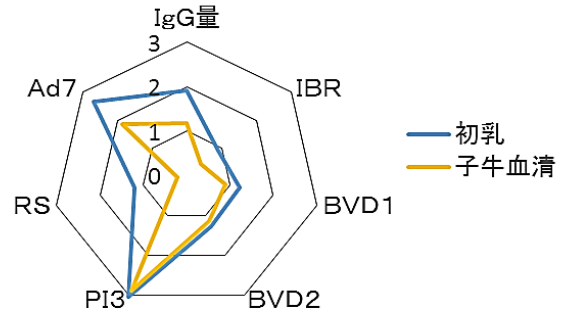
預託農場に預ける前に、ワクチン接種により 多様な病原体に対する抗体を獲得しておく必要があります！

農場により初乳抗体価はこんなに違う
(指数 = \log_{10} [抗体価])



A農場では、初乳のIBR,BVD,RS抗体が少ない
→子牛に移行する抗体量も少ない

A農場における
初乳と子牛血清中の抗体価



PI3で移行率が高いが、RSでは低い
→抗体の移行率は病気により異なる

ワクチン接種で予防できる病気は、こんなにたくさんあります！

呼吸器病ワクチン

病名	略称	症状 (◎: 重篤で頻度の高い症状)						
		発熱	元気・食欲の低下	肺炎	下痢	死亡	異常産	持続感染※
牛伝染性鼻気管炎	IBR	◎	◎	◎		◎	○	
牛ウイルス性・下痢粘膜病	BVD-MD	◎	○	○	◎	○	◎	◎
牛パラインフルエンザ	PI3	○	○	○		○		
牛RSウイルス病	RS	◎	◎	◎		◎		
牛アデノウイルス病	Ad7	○	○	○	◎	○		

※持続感染牛は、牛群中で感染源となります。

これらの病気に対するワクチン一例 (接種料金2,000~2,500円/頭程度)

ストックガード5 [不活化]: IBR・PI3・RS・BVD-MD(1型・2型)

ポビバック5 [不活化]: IBR・PI3・RS・BVD-MD(1型・2型)

キャトルウィン6 [生・BVD-MDのみ不活化]: IBR・PI3・RS・Ad7・BVD-MD(1型・2型)

下痢症ワクチン

病名	特徴
牛ロタウイルス病	黄白色水様下痢、2週齢以内で発症、混合感染
牛コロナウイルス病	乳白色水様下痢(血液混)、1週齢程度で発症、冬季に多発
牛大腸菌症	泥状~水様の悪臭を発生する下痢、2週齢以内で発症、混合感染

これらの病気に対するワクチン一例 (接種料金2,000円/頭程度)

牛下痢5種混合[不活化]: ロタ(3種)、コロナ、大腸菌